


開港150周年を盛り上げる企画が続々...

横浜観光プロモーションフォーラム「認定事業」 4月は34件の事業を認定！

横浜への来訪者を増やすことを目的に活動する「横浜観光プロモーションフォーラム」では、平成21年度4月認定事業として、**新規事業11件、継続事業23件の計34件の事業**を認定しました。審査方法と強化テーマの見直しの結果、旅行商品部門では「羽田空港を利用した地方発の旅行商品」が多く認定、情報発信・ムーブメント部門では、「横浜のおもてなしの心」を発揮した事業や「金沢区エリア発の事業」が、多く認定されています。

今回のポイント1 「羽田空港を利用した全国から横浜への旅行商品事業」が増加！


新規認定 **旅日和<たびびより>**
横浜 鎌倉 箱根



横浜と羽田空港のアクセスの良さや、鎌倉や箱根などへ観光する際の拠点としても非常に便利であることをアピールし、横浜での宿泊客増加を狙う。Y150の情報・横浜・鎌倉・箱根の情報ページを各1ページ設け、モデルコースも掲載。ホテル紹介も大きめに掲載し、誘客へとつなげる。

JTB北海道 国内商品事業部

made in TOKYO
～横浜時間～



東京の観光型商品の中で、Y150をはじめとした横浜の魅力を紹介。北海道・東北・北陸・関西・中四国・九州・沖縄エリアにて販売。横浜の観光・飲食・ショッピングに最適なマップ&クーポンを制作・配布し、他社商品にはない横浜の魅力を創出し誘客を図る。

ANAセールス株式会社

旅スケッチスペシャル東京・横浜
JAL東京ストーリープラス横浜



日本航空便利用の地方発羽田空港利用の旅行商品にてY150をフックに横浜地区への誘客を図る。夜景評論家丸々もお氏プロデュースの「夜景観光素材」を新規設定し、横浜での滞在性を強化。「旅スケッチスペシャル東京・横浜」では横浜地区を東京地区よりページを前に掲載しアピールを行う。

株式会社ジャルツアーズ

今回のポイント2 「横浜のおもてなしの心」を発揮した事業を高く評価。

新規認定 **横浜観光ユニバーサル**
デザイントイレマップの作成



「多機能トイレ(だれでもトイレ)」や「車いす対応トイレ」の情報と横浜の観光情報を掲載したサイトを作成。車椅子の方、子ども連れの家族を中心とした来訪者の利便性を向上をはかるとともに、ユニバーサルデザインな観光地として横浜のイメージアップにつなげる。

特定非営利活動法人 Check

新規認定 **はまっぷ片手に**
発祥の街 ヨコハマ散策



ホテルコンシェルジュや観光インフォメーションセンタースタッフ、人力車の車夫の意見とアイデアを満載した、使う人の目線に立ったマップ「はまっぷ」を作成。来訪者の利便性の向上を図るとともに、様々なスポットを巡るゲーム的要素も取り入れ、周遊性を高める。


株式会社横濱おもてなし家

これらの5事業のほか、**新規 8事業、継続 21事業**の計34事業を認定。

総事業費は**約33億2千万円**となっています。

詳細については**別紙**をご覧ください。

次回、6月認定の
応募締切は5月8日(金)
横浜への集客力を高める
様々な事業の応募を
お待ちしております。




裏面あり

今回のポイント③ 金沢区発の新たな取組み2事業を認定。

新規認定

**横浜・金澤
もう一つの開港150周年**



横浜開港150周年の一環として、金沢区民、横浜市民でつくるもう一つの開港150周年と位置づけ、横浜の歴史をはじめ、金沢地区の紹介や地産商品の販売、環境保全に関する情報を多くのお客様に周知し、横浜の素晴らしさや地域振興、横浜全体の波及効果を生める展開をしていく。

横浜・金澤もう一つの開港150周年実行委員会

新規認定

My Town 金沢八景



金沢区に通う学生が、学生ならではの視点でフリーペーパー「My Town 金沢八景」を発行。区内で開催予定のイベント「横浜・金澤 もうひとつの150周年」とも連携し、同事業を紹介。150周年を盛り上げると共に、読者を横浜・金沢へと誘客する。京急沿線を中心とした金沢周辺地域以外の地域情報も掲載、周遊性を高める。

関東学院大学 伊藤玄二郎ゼミナール

■平成21年度4月認定 概要

【応募件数、認定件数、総事業費、助成金の交付額】

| | 応募数 | 認定数 | 総事業費 (千円) | 助成金 (千円) |
|--------------------|-----|-----|----------------------|------------------|
| A:旅行商品部門 | 7 | 7 | 1,825,588 (55.0%) | 6,250 (45.3%) |
| B:情報発信 ムーブメント部門 | 29 | 27 | 1,496,634 (45.0%) | 7,550 (54.7%) |
| 合計 | 36 | 34 | 3,322,222 | 13,800 |

【審査方法】

「集客性」(A:旅行商品部門のみ)、「滞在支援性」(B:情報発信・ムーブメント部門のみ)、「周遊性」、「PR性」、「継続性」、「波及性」、「発展性」、「計画性」、の観点から審査

※認定実績のある事業の申請は「継続申請」となり、上記審査項目に加え「実績」を考慮する。

※強化項目として、下記に該当する事業は、審査上一定の加点措置がなされる。

- ①「羽田空港を利用した地方発の商品/サービス/取組み」
- ②「横浜のブランド力を高める、今までにない新しい展開を盛り込んだ事業」